

「走れメロス」定期テスト対策練習問題⑤

年	組	番	名前
---	---	---	----

次の文章について、答えなさい。

「ああ、メロス様。」(ア) うめくような声が、風とともに聞こえた。

「誰だ。」メロスは走りながら尋ねた。

「フィロストラトスでございます。あなたのお友達セリヌンティウス様の弟子でございます。」その若い石工も、メロスの後について走りながら叫んだ。「もう、だめでございます。無駄でございます。走るのはやめてください。もう、あの方をお助けになることはできません。」

「いや、まだ日は沈まぬ。」

「ちょうど今、あの方が死刑になるところです。ああ、あなたは遅かった。お恨み申します。ほんの少し、もうちょっとでも、(イ) 早かったなら!」

「いや、まだ日は沈まぬ。」メロスは胸の張り裂ける思いで、赤く大きい夕日ばかりを見つめていた。走るより他はない。

「やめてください。走るのはやめてください。今はご自分のお命が大事です。あの方は、あなたを信じておりました。刑場に引き出されても、平気でいました。(ウ) 王様がさんざんあの方をからかっても、メロスは来ますとだけ答え、強い信念をもち続けている様子でございました。」

「(エ) それだから、走るのだ。信じられているから走るのだ。間に合う、間に合わぬは問題でないのだ。人の命も問題でないのだ。私は、なんだか、もっと恐ろしく大きいもののために走っているのだ。ついてこい! フィロストラトス。」

「ああ、あなたは気が狂ったか。それでは、うんと走るがいい。ひょっとしたら、間に合わぬものでもない。走るがいい。」

(オ) 言うにや及ぶ。まだ日は沈まぬ。最後の死力を尽くして、メロスは走った。メロスの頭は空っぽだ。何一つ考えていない。ただ、訳のわからぬ大きな力に引きずられて走った。(カ) 日はゆらゆら地平線に没し、まさに最後の一片の残光も消えようとしたとき、メロスは疾風のごとく刑場に突入した。間に合った。



問1 下線ア「うめくような声」とあるが、このような声になった理由を説明する次の文章の（ ）に当てはまる言葉を文章中の言葉を用いて3字で答えなさい。

もうセリヌンティウスを助けることはできないと思い、メロスを（ ）いたから

問2 下線イ「早かったなら」とあるが、この後を続ける場合、適切な文を文章中の言葉を使って答えなさい。

問3 下線ウ「王様がさんざんあの方をからかっても」とあるが、王様はどのようなことを言ってセリヌンティウスをからかったと考えられるか。最も適切なものを次の中から選び○で囲みなさい。

ア：これから行う刑はとても苦しいと脅してからかった

イ：メロスは裏切って、ここに来るはずないとからかった

ウ：メロスが帰ったら、彼をひどい刑に処してやると脅してからかった

エ：大衆の前で刑場に引き出して、皆が見ているぞとからかった

問4 下線エ「それだから」とあるが、なにを指しているのか。もっとも適切なものを次の中から選び○で囲みなさい。

ア：まだ日は沈まないので、間に合うかもしれないということ

イ：卑劣な王がセリヌンティウスをからかうのが許せないということ

ウ：自分を信じるセリヌンティウスを助けたいということ

エ：大切な友が自分を信じてくれていることに応えたいということ

問5 下線オ「言うにや及ぶ」の意味を次の中から選びなさい。

ア：言うべきである

イ：言わないでくれ

ウ：言ったはずだ

エ：言うまでもない



問6 下線カ「日はゆらゆら地平線に没し」の状況として適切なものを次の中から選び○で囲みなさい。

- ア：太陽全体が地平線より下に沈んだ
- イ：太陽の下端が地平線までさしかかった
- ウ：太陽の半分が地平線より下に沈んだ
- エ：太陽が地平線に向かって沈んでいく



「走れメロス」定期テスト対策練習問題⑤（解答）

問1 恨んで

問2 あの方をお助けになることができたのに

問3 イ

問4 エ

問5 エ

問6 ア

